

新年あけましておめでとうございます。

謹賀新年

今年も1年よろしくお願ひいたします。

社会福祉法人愛篤福祉会
理事長 遠藤 節子

▼皆様は新年をどのようなようにお迎えでしたでしょうか。紅白歌合戦を見ても誰が歌っているのかわからない程グループが混在し、なんだかわからないまま新年を迎えました。例年なら12時になる前に飯野八幡宮へのお参りで家の前を車やバイク、人の話し声で賑やかになるのですが今年はまばらでした。コロナが収束していないことも影響しているのでしょうか。

今年の抱負はどのようなことを願ったでしょうか。叶わぬ思いは「夢」の中へ、叶うことは「目標」に。法人としても、もう一つグループホームを作る事業に取り組みなければなりません。それが「親亡き後」の事業になるだろうと考えます。様々な言葉の交わりを経て、親亡き後の事業はグループホームの中で達成できれぱと思ひます。

▼コロナで明け暮れた3年、センセーショナルなことが幾重にも起き、その余波が生活の細部まで入り込みました。生活スタイルの変わりようは人間の力で変えられない所までできた感があります。

21世紀、大きくハンドルが切られたことに私たちは気づかなければなりません



工房阿列布
管理者 坂井 達雄

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

思いおこせば、震災から数えて干支を一回りしてしまいました。私は震災の年に籍を入れたので、なんと結婚12年目になります。(失礼)

私が事業所に入ったのは平成17年の11月2日でした。そのころはまだ週休2日制で土日は休みでした。自立支援法も成立していなかったので皆様の利用負担もなく、もつと言え

ば、就労支援、生活介護なんてくくりもなく、全利用者一緒に活動し、皆さんはもつと走り回っていたような気がします。その間、制度の見直しは良くも悪くも利用者さんや職員の日常を変えたといつても過言ではありませぬ。

それでも変わらぬ信念で私達事業者は今後も頑張りますので、ご協力宜しくお願ひします

さて、今年はどうなことを皆さんと経験していけるのでしょうか、今から楽しみで



KAKA's FACTORY
管理者 太田 さとみ

あけましておめでとうございます。皆さま清々しい新年をお迎へのことと思ひます。

私は北海道に赴任して7回目のお正月を迎えました。

さて、国は誰もが地域の中で安心して暮らすことのできる共生社会の実現を掲げておりますが、障がい者や高齢者への虐待や人権侵害のニュースに触れない日がないといつても過言ではありません。

また、利用者の高齢化や重度化への対応ができる事業所、職員の不足が歯止め利かないほど広がり、対応が難しいのが現状です。障がい者施設のみならず、高齢者の施設も同じ状況下にあるようです。

諦めることは進むより「楽」ですが、頑張つて行こうと思ひます。

今年は何となく飛躍の年といわれる「卯年」です。令和5年の終わりに、「信じて頑張つて良かった」と一条の光を見ることができれば幸いです。



グループホーム静修苑
管理者 鈴木 さゆり

新年あけましておめでとうございます。昨年はたくさんの方にお世話になり感謝しています。「今年はどうな年にしたいか」と年始に考えた時に「一番最初に思いついたのは「健康第一」でした。少し前までは、あれもしたい、これもしたい、という気持ち強いだけで結局何も達成できずに1年が終わってしまいましたので、今年はどうならないためにも、利用者さんの個別支援目標と同じように何か目標を作り、1年の中で達成できるようにしていきたいと思ひます。

今年グループホームの利用者数を増やし利用者・職員含め笑顔で楽しく生活していけるように頑張つていきたいと思ひますので、保護者・関係者の皆様におかれましてはご理解ご協力をお願いいたします。

今年もどうぞよろしくお願ひします。

